

報道関係各位

6月の投資家信頼感指数は5月の108.5から115.5に上昇

この報道発表資料は、2009年6月30日に米国ボストンで発表されたものの翻訳版です。
その正確な内容につきまして、正文をご参照ください。翻訳に関する責任を負いかねますのでご注意ください。

【米国ボストン発】ステート・ストリート・コーポレーション(NYSE:STT)のリサーチおよびトレーディング部門であるステート・ストリート・グローバル・マーケットスは、2009年6月の投資家信頼感指数®を発表しました。

6月の投資家信頼感指数は5月の改定値108.5から7.0ポイント上昇し115.5に達しました。地域別では、欧州市場の上昇幅が最も大きく、5月から9.1ポイント上昇し95.0となりました。北米市場も大きく上昇し、5月の107.4から113.6へ6.2ポイント上昇しました。一方、アジア市場ではリスク選好度が小幅に下落し、指数は5月の改定値である93.4から1.3ポイント低下して92.1となりました。5月のグローバル指数と北米市場の指数の改定幅はいつもよりやや大きくなりましたが、これは、5月の指数が休日(メモリアル・デー)の影響を受けたことによるものです。

投資家信頼感指数®は、ステート・ストリート・グローバル・マーケットスのリサーチ部門であるステート・ストリート・アソシエイツ(SSA)において、ケン・フルート教授とポール・オコネルによって開発されました。投資家信頼感を定量的に測定し、機関投資家の実際の売買パターンを分析する同指数は、アンケート調査をベースにした指数とは異なり、データに基づいているほか、投資家のリスク選好度の変化、つまりポートフォリオに株式を組み込む意欲の変化の持つ意味を正確に読み取る金融理論に基づいています。機関投資家がポートフォリオに組み込む株式の割合が大きいほど、彼らのリスク選好度または信頼感が高いこととなります。

「6月まで3ヵ月間、グローバル指数はニュートラル水準である100を上回っていますが、これは機関投資家がポートフォリオ内のリスク資産を増額していることを表しています」とフルート教授は述べています。「財政状態の長期的な持続性や量的緩和策のインフレに対する影響に関して一部に懸念はありますが、機関投資家は依然としてこの長期的な見通しを持ち続けているようです」



「機関投資家の信頼感は、2007年半ばの金融危機以来、常に1、2ヶ月消費者信頼感指数を先行してきました。初期の回復の兆しが現われてきた現在もそうした状態が続いています」とオコネルは付言しています。「例えば、北米市場の指数は昨年12月に底打ちしましたが、コンファレンス・ボードの消費者信頼感指数が上昇に転じたのは今年の2月です。同じく、欧州市場でも投資家信頼感指数はEUの景況感指数(ESI)に先行してきました。欧州市場が今年第2四半期(4~6月期)に記録した21.3ポイントという上昇幅は、2006年第3四半期以来最大のものです」



6月の投資家信頼感指数

グローバル	115.5
北米	113.6
ヨーロッパ	95.0
アジア太平洋	92.1

ステート・ストリート・グローバル・マーケットについて

ステート・ストリート・グローバル・マーケットは、アセット・マネジャーやアセット・オーナーのポートフォリオ価値の維持・向上を目指し、為替、株式、債券およびデリバティブ商品に関するインベストメント・リサーチおよびトレーディング・サービスを提供しています。世界市場のクロスロードとしての特殊な地位を利用し、フローベースのリサーチや革新的なポートフォリオ戦略の提供、トレード・プロセスの最適化や複数の資産クラスやマーケットをグローバルにつなげる等、顧客に付加価値を提供しています。

ステート・ストリート・グローバル・マーケットのリサーチ・チームは、第一線で活躍する研究者や業界の専門家で構成されています。顧客が旧来型の思考に挑み、アイデアを生み出し、より多くの情報に基づいた投資判断を行い、測定可能な成果を享受することができるように、独自の投資家行動研究の理論および応用や、画期的なポートフォリオおよびリスク・マネージメントの技術など、科学の持続的発展に向けた取り組みを進めています。

ステート・ストリートの投資家信頼感指数®について

ステート・ストリート投資家信頼感指数®は、毎月最終火曜日の米国東部時間午前10時にボストンにて公表され、全世界に配信されます。ステート・ストリート投資家信頼感指数に関するより詳細な情報および公表日程は、<http://www.statestreet.com/investorconfidenceindex> をご参照ください。

ステート・ストリート・コーポレーションについて

ステート・ストリート・コーポレーション(NYSE: STT)は、世界の機関投資家を対象に、資産管理や資産運用サービス、インベストメント・リサーチとトレーディング・サービスを提供する世界有数の金融機関です。11.3兆ドルのカストディー資産と1.4兆ドルの運用資産を有し、世界27ヶ国、100以上の地理的市場で業務を展開しています(2009年3月31日現在)。詳細については、ステート・ストリートのウェブサイト www.statestreet.com をご参照ください。

このプレス・リリースには、米国連邦証券諸法の下で「将来の展望に関する表明」と称される情報が含まれています。同情報は、現在の諸予想に基づいて作成されたものであり、数多くのリスクや不確定要素を含んでいます。こうした重要要因の中には、ステート・ストリートの新規顧客の獲得及び既存顧客へのサービス拡大の速度、世界及び地域の金融市場の価値、国際間での投資活動の速度や金利の変動、世界的な経済成長の速度及びインフレ率の速度、為替市場の変動の規模、顧客と競合相手間の整理統合、ステート・ストリートの事業内容、ステート・ストリートがサービスを提供する市場の動態、それにステート・ストリートが買収した企業の統合・転換の成功等が含まれます。本プレス・リリースの中に記された業績見通し内容と実績が大きく乖離する原因となり得る重要要因については、当社の2008年度年次報告書、および追って証券取引委員会(SEC)に提出される文書の中に記載されています。投資家の皆様には、いかなる投資判断を決定されるよりも前に、弊社の年次報告書、特に財務結果に影響しかねない要因についての項目、及びその後SECに提出した追加的な情報に関する報告書に目を通されることをお奨めします。このプレス・リリースにおける業績見通しは、2009年6月30日現在のものであり、この日付以降に生じる出来事や動きを反映した「将来の展望に関する表明」の改訂版を出すことを保証するものではありません。

お問い合わせ

ステート・ストリート広報部

榊原

TEL: 03-4530-7487